

いつまでも学び続ける信念

東京音楽大学創立100周年記念
教員によるピアノ特別演奏会

家永勝 写真提供◎東京音楽大学

東京音楽大学創立100周年記念の一環として、現職教員によるピアノ特別演奏会が10月15日に東京芸術劇場大ホールでおこなわれた。この日の構成は4部に分かれており、同大学の講師、准教授、教授の47人と、同大学の先生方が出演する。大学ピアノ部会主任教授である菊地麗子氏がプログラムに次のように記述されていた。「大学建設資金のための寄付金を集めるにはどうしたらよいかという話になり、私たちが演奏会を企画し、無償で出演し収益

金を寄付してはどうかという案が出、討議の末全員が賛同し出演者はピアノ部会のメンバーより希望者を募り、時間の制約の中で各自、自由に選曲する。指導者にとって、いつも自ら勉強していくという信念を忘れず、生徒に自らの範を示すことは極めて重要なことと「思います」と。

第1部では、独奏以外に2台ピアノによる8手連弾、ヴァイオリンソナタを含む8組、第2部も独奏ほか2台ピアノを含む7組、第3部の6組の中に

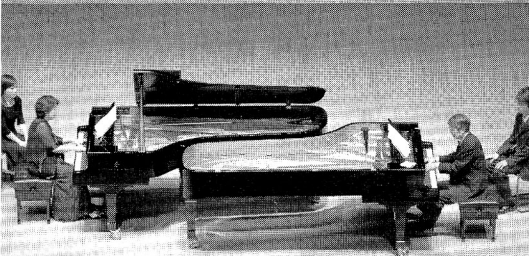
は、講師である宮原節子の『女声二重唱とピアノの為』の作品を、教授の釜洞祐子と講師の橋洋子が歌った。また、教授の大谷康子と講師の広瀬宣行の『ヴァイオリン独奏もみこと』のヴァイオリン独奏もみこと。

第4部の6人の独奏と2組の2台ピアノは、ほとんど全員が同大学の教授たちの演奏。出演の先生は独奏が岡田敦子、海老原直美、武田真理、鷺見加寿子、播本三恵子、三浦捷子、2台ピアノが菊地麗子と遠藤雅夫、関根有子

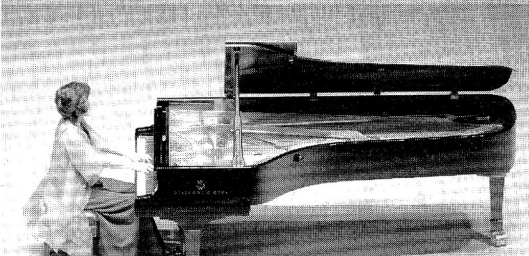
と弘中孝の各氏。各先生方の熱のこもった演奏は、それはみごとなものであり、感服する。

この日のチケットは大分前より完売だそう、超満員の聴衆を十分に堪能させた。まさに100周年記念行事にふさわしいピアノ部会の一大行事はこうして無事に終了。この大学の教師の層の厚さを改めて思い知らされる。16時より21時近くまでの演奏を全部聴くのは、聴く側にもエネルギーが必要だった。

菊地麗子 & 遠藤雅夫



弘中孝 & 関根有子



播本三恵子



大谷康子 & 広瀬宣行



石井克典

寿明義和



稲田潤子